

請 願 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 0 9 1	受 理 年 月 日	令 和 3 年 2 月 19 日
件 名	小学校のような全員制の中学校給食の実施		
要 旨	<p>貧困と格差の広がり、子供の生活と教育に大きな影響を与えている。朝食を食べずに登校する子や長期休暇が終わると痩せているなど、1日のうちでまともな食事は学校給食だけという子供の実態も報告されている。また、京都市立中学校で行われた中学校給食のアンケート調査で、学校で昼食を取らない、若しくは取らなかったと答えた生徒が約7パーセントいることが明らかになっている。伸び盛りの中学生に、教育の一環として食生活の実態データに基づき、行政として全員制の中学校給食を保障することがますます重要になっている。</p> <p>京都市の中学校給食は注文をした生徒に対してお弁当が提供される。注文する生徒は全市で30パーセント以下である。全国では、約9割近くの中学生が既に中学校給食を食べている。遅れていた自治体でも近年、全員制の中学校給食の実施に向けて急速に整備が進んでいる。京都府下では、全員制の給食の実施を決めていないのは、亀岡市と京都市だけになっている。</p> <p>京都市では施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）だけで全員制の中学校給食が実施され、早く全ての中学校で全員制給食が実施されることが待ち望まれている。お弁当を注文している多くの中学生は小学校の給食の方が良かったと言う。中学生も待ち望んでいる。</p> <p>どの子も温かく栄養バランスの取れた全員制の中学校給食が食べられるよう京都市としても取り組むことを求め、下記のことを願う。</p> <p>1 小学校のような全員制の中学校給食を全ての京都市立中学校で実施すること。</p> <p>なお、本請願について、2,109筆の署名を添える。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	くらた共子, 鈴木とよこ, とがし 豊, 河合ようこ		
付 託 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		

